

「ゴードン・マッタ=クラーク展」

その世界を体感する、“観るだけ”ではない体験・参加する展覧会

～写真撮影 OK な会場やワークショップコーナー、インスタグラムイベント「みつけよう！あなたのまちの GMC」やビームスとの各種コラボなどを多面的に展開～

東京国立近代美術館(東京都千代田区)では、2018年6月19日(火)から9月17日(月・祝)まで、「ゴードン・マッタ=クラーク展」を開催します。

1970年代ニューヨークを中心にアート・建築・ストリートカルチャー・食など多くの分野で活躍したアーティスト、ゴードン・マッタ=クラーク(1943-78)のアジア初回顧展となる本展では、彫刻・映像・写真・ドローイング・関連資料など約200点の展示だけでなく、その活動を追体験いただける様々な工夫を凝らしています。プレイグラウンド(公園)がコンセプトの会場やワークショップコーナー、参加型のインスタグラムイベントやビームスとのコラボレーションなど、体験・参加いただける仕掛けを会場内外で多面的に展開します。



左: 模型による会場風景
展示デザイン | 小林恵吾 (NoRA) +
早稲田大学建築学科小林恵吾研究室
／植村遥
右: 会場風景

■写真撮影も OK! プレイグラウンド(公園)のような会場

会場構成のコンセプトは「プレイグラウンド(公園)」。波板のような壁、金属製のフェンス、カラフルなネットなど普通の展示室には存在しない素材を使って会場内を構成。にぎやかな会場で作品を鑑賞いただくことで、70年代ニューヨークの雰囲気を感じることができるかもしれません。また、ゴードン・マッタ=クラークが“切った”建物のダンボール製1/8模型も展示され、覗き込むなどしてその構造をお楽しみいただけます。会場内は写真撮影 OK(一部を除く)です。

■前庭に展示される《ごみの壁》

1970年にゴードン・マッタ=クラークによってオリジナルが作成され、その後、それぞれの土地で集められたごみを使って再制作が行われている作品《ごみの壁》。本展では、東京の街で集められたごみを使って、サイズ約180×180×60cmほどの作品を早稲田大学建築学科の学生と共同で制作しました。



前庭に展示された《ごみの壁》

■常設ワークショップコーナー

エントランスに展覧会にちなんだワークショップコーナーが出現。グラフィティの作品をモチーフにした、自由なカラーリング(ぬり絵)が体験できます。子どもから大人まで、ゴードン・マッタ=クラークの世界を追体験いただけます。

実施期間: 7月下旬～会期終了まで ※参加無料

■展覧会と“まち”、お客様と美術館を繋ぐインタラクティブな試み「みつけよう！あなたのまちの GMC」

お客様と美術館との双方向な試みとして、身近な“ゴードンの風景”を投稿していただく企画、Instagram イベント「みつけよう！あなたのまちの GMC」を実施します。ゴードン・マッタ=クラークは美術館という空間から出て、街を舞台に活躍しました。展覧会を観てから街に出ると、マッタ=クラークが見た景色に近い風景が見つかるかもしれません。イベント公式アカウント「@exhibition_gmc2018」をフォローして「#あなたのまちの GMC」タグを付けて投稿！その中から、展覧会担当者が選んだ投稿を館内に掲示し、ご紹介します。

※詳細は公式 HP でご案内します。

■ビームスとのコラボレーション

株式会社ビームス(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:設楽洋)では、6月15日(金)からアートディレクター・前田晃伸デザインのTシャツ、トートバックなどオリジナルアイテム7型を「トーキョーカルチャート by ビームス」とBEAMS公式オンラインショップにて発売します。また、ゴードン・マッタ=クラークがオーナーをつとめた伝説のレストラン「FOOD」にインスピレーションを受けた5組のアーティストによる作品を展示するほか、各作品をフィーチャーした前田晃伸デザインの缶入りTシャツ5型も発売します(企画協力:sakumotto,Inc.)。

また、幡ヶ谷のパドラーズコーヒー(東京都渋谷区)他にて、人気料理家や飲食店店主がゲストのトークイベントも企画開催されます。ゴードン・マッタ=クラークの時代のカルチャーと、現代における食文化の親和性などについて語ります。参加メンバースケジュールなど詳しくは公式Instagramアカウント(gmc_food_beams)にて発表します。

オリジナルアイテム発売日:6月15日(金)

オリジナルアイテム取り扱い店舗:トーキョーカルチャート by ビームス、BEAMS公式オンラインショップ <http://www.beams.co.jp>
東京国立近代美術館ミュージアムショップ(6月19日(火)より)

※詳細は株式会社ビームス発行のプレスリリースをご参照ください。

※ビームスとのコラボレーション企画についてのお問い合わせ先

株式会社ビームス 社長室宣伝広報統括本部 山村 TEL:03-3470-7968 e-mail:yamamura@beams.co.jp

※パドラーズコーヒーでのトークイベントについてのお問い合わせ先

TAIRA MASAKO PRESS OFFICE 平 TEL:090-1149-1111 e-mail:masako@tmpress.jp



Tシャツ(前田晃伸デザイン)

■映像作品「帰ってきたゴードン・マッタ=クラーク」上映会

時間を薄切りにしながら芸術作品に穴を穿つことでそれを別の芸術作品へと翻訳するプロジェクトで知られるアーティストの奥村雄樹が、狼狽するような死の除外によって生み出した映像、「帰ってきたゴードン・マッタ=クラーク」と題されたその作品が、「眺めのよい部屋」で少人数のグループを対象として上映されます。

7月28日(土)~9月15日(土)までの毎週土曜 10:00-20:48

※申込不要、参加無料、要観覧券

■夏休み!こども美術館

小学1~4年生対象の特別なプログラム。展示室でのギャラリートークや工作で夏の大切な思い出を。

8月18日(土)、19日(日) 各日 10:30-12:30、14:00-16:00

※要事前申込、抽選制、無料。詳細は公式HP(<http://www.momat.go.jp/am/learn/kids/>)をご確認ください。

■ギャラリートーク・シンポジウム

本展企画担当の三輪健仁(東京国立近代美術館主任研究員)が土曜不定期に会場内でギャラリートークを実施。多彩なゲストも参加予定。専門家をお招きしてのシンポジウムも実施します。

※詳細は決まり次第公式HP、公式SNSなどでお知らせします。

■「ゴードン・マッタ=クラーク展」概要

◆会期:2018年6月19日(火)~9月17日(月・祝)

◆観覧料:一般1,200円、大学生800円

※高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料

※当日に限り、「MOMATコレクション」、「瀧口修造と彼が見つめた作家たち コレクション」を中心とした小企画もご覧いただけます。

◆休館日:月曜(ただし、7月16日、9月17日は開館)、7月17日(火)

◆開館時間:10:00-17:00 金曜・土曜は21:00まで(いずれも入館は閉館30分前まで)

◆会場・アクセス:東京国立近代美術館(東京都千代田区北の丸公園3-1)

東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口)徒歩3分

◆お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.momat.go.jp>(ホームページ)

◆主催:東京国立近代美術館

※詳細は「ゴードン・マッタ=クラーク展」プレスリリースをご確認ください。



報道関係のお問い合わせ先

東京国立近代美術館広報室 三輪、紀太、有馬 TEL:03-3214-2564 FAX:03-3214-2576 e-mail:pr@momat.go.jp